

47 「千葉県を歩く1 鴨川へ(1)」

家にいると運動不足になるので、買い物などできるだけ車を使わず歩いていくよう心掛けている。特に用事がなくとも、できるだけ歩こうという意識はある。しかし、いつも同じところを歩くのでは変化に乏しく物足りない。まあ、健康のために歩くのだから、別に景色がどうであろうと関係ないと思う人もいるだろう。でも私の場合、それでは歩く意欲がわかない。そこで別の方法を考えた。

家を出発して歩けるだけ歩き、それを続けていけば結果的にどこか遠くに着くだろう。この方法だと毎日やるのは難しいので、運動不足解消半分楽しみ半分というところだ。長続きさせるには楽しくなくてはいけないし、目的意識もあったほうがさらにいい。

前に会社の知り合いから、東海道を分割で歩き通すというのを聞いたことがある。毎週土日に一泊二日で歩けるだけ歩くのだと言っていた。多分何ヶ月もかかるだろうし、その人の家は茨城県にあるので電車賃と宿代もバカにならないが、何だか楽しそうだなと思った。

■ 5月17日(金) 午前11時に家を出て、鴨川街道を南に向かって歩き始める。

持ち物は汗拭きのハンカチと携帯、小銭だけだ。この道はよく散歩する道で、3,40分往きまた戻ってくるということをよくやっていた。

1時間ほど歩いて袖ヶ浦市との境に着いた。今日は日差しが強いが、風は涼しく汗があまり出ない絶好のウォーキング日和だ。道端に咲く黄色い野の花の写真を撮っていると、後ろからそっと歩道を近づいてきた車がある。何事かと驚いて振り向くと中学校の同窓生だった。1kmほど手前のガソリンスタンドのあたりを通った時に気付いたようで、歩いている様子に思いあたったからだろう。平日にほとんど車しか通らない道路を歩いているのを見て、不思議に思ったようだ。

「こんなところで何をしているのか？」と冗談半分の質問。まあ、不思議に思うのも当然だ。でも、わざわざ車で追いかけて来るようなことか？こちらから当然のように「健康のために歩いているのだ」と答えた。隣に若い女性を乗せていたので「娘さん？」と訊くと、店の従業員だという。確かに子供にしては若すぎる。そういえば、彼はインターの近くでガソリンスタンドを経営していると言っていた。その事務員さんなのだった。彼とは4,5分話して別れた。



袖ヶ浦市に入り、東京ドイツ村への分岐点まで来た。その少し手前に「対州庵」というそば屋の看板が見えた。“対州”という珍しい店名で、もしや対馬出身の人がやっている店かな？とチラッとと思った。

新緑の季節、爽やかな気候の中を歩くのは本当に気持ちいい。車で通り過ぎてしまえば平凡な景色で終わってしまうが、歩いているといろいろな発見があるのも楽しい。道端に何気なく咲いている野の花の美しさや、雑草の逞しさなどを感じる。

平岡小学校を通り過ぎる。これまで車の時はもっと近かったように思ったが、案外家から距離があったのだ。このあたりで1時間半ほど経っていた。

三高（サンタカ）という峠（低いが）にある交差点を過ぎ少し行くと、大きな貯水池がありそよ風で水面に微かな漣がたっている。周りは一面青々とした田圃だ。

しばらく進むと木更津市との境になった。立体交差の上を通り、大きく左に曲がると2車線の道路に入る。このあたりになるとかなり足が疲れてきた。この単調な道路を行くと、真里谷（マリヤツ）という交差点で久留里街道に合流。そこから数分でJR久留里線の馬來田駅に着いた。

時刻は午後1時半になっていて、2時間半の歩きだった。途中休みなしで、写真を撮る以外は一気に歩き通したという感じ。久しぶりの遠距離歩きで疲れたのでここで終わりにしよう。

正確な距離は分らないが、だいたい15kmくらいだろう。日東バスの馬來田・茅野～姉ヶ崎駅という路線バスで戻る。往きに2時間半かかった道のりを、バスは30分であつという間に戻ってきた。足の痛さと共に、心地よい疲れが今日の充実感をもたらしてくれた。



■ 5月28日（火） 今日には馬來田から続きを歩く。馬來田から久留里まで歩き、帰りはJR久留里線で馬來田まで戻ってくるつもりだ。

最初、馬來田までは車で行こうと思っていたが、車の置き場所に困るのでバスの方が無難だろうと考え直した。前は全く時間を意識せず歩き始めたが、家から馬來田までバスで往復しJRも使うとなれば、バスとJRの時刻を調べておかないと長時間待つことになる。このあたりはバスも鉄道も1時間に1本もないローカル路線なのである。

10:12分発のバスで馬來田に10:40分着、すぐ歩き始める。久留里街道（県道410号線）はずっとJR久留里線に沿っている。片側1車線の旧道で道幅が狭く歩道は気休め程度しかない。

しかし交通量が少ないので問題はない。道路の両側には変化の乏しい水田が続き、下郡駅を過ぎると君津市に入った。このあたりはイチゴ農園が多い。道路の横に重量検問所という小屋があり、大型トラックをそのまま載せて重さを量る装置が設けられているのは何だろう？

馬來田から久留里方面にはバス路線はないと思っていたが、ところどころに停留所がある。見るとJR千葉駅から東京・浜松町駅からアクアライン経由で、鴨川の亀田病院まで急行バスが通っていた。

亀田病院は最先端医療で全国的に知られる病院だ。上総アカデミアパークへの分岐点である三田（サング）の交差点を過ぎると、すぐに小櫃駅があった。このあたりが今日の中間点だろう。

小櫃駅の周辺は商店もあり町らしい雰囲気である。そこからしばらく行くと久留里線と道路が交差し、すぐに俵田駅だ。天気予報は曇りだったが、雲行きが怪しくなってきたので少し急ぐ。あと3kmく



らいなので30分ほどだろう。雨が降らないで欲しい。

今日は不思議と足は痛くない。“廃棄物処理施設建設反対・水源確保のため”という立看板があったりして、このあたりが酒や酢の醸造に適した良質の水源地ということ思い出した。

道路は小高い山の右側をすり抜けるようにゆるい上り坂となり、右側に県立君津青葉高校を見ながら通る。前に自転車で走った記憶がよみがえってきた。「天の原酒造」の酒蔵があり、そこを過ぎるとすぐに久留里の中央通りに出た。平日の昼ごろということもあるだろうが人通りはまばら。商店のいくつかはシャッターが閉じられ閑散としたメインストリートだ。途中雨を心配して急ぎ足で歩いたので少し足が疲れた。

多分今日は10kmくらい歩いただろう。人影のない駅前広場のベンチに腰かけ昼食を食べる。冷たいペットボトルのお茶がうまい。

帰りは12時51分発の列車で久留里から馬来田まで戻る。4駅でわずか15分しかかからない。馬来田からはバスでアッという間に家に戻ってきってしまった。



人が働いている時に、自分だけこのようなことをすることが許され、自由に健康な身であることに感謝したい。

■6月1日(土) 最終目的地を外房の鴨川にした。久留里から先はきちんと計画する必要がある。今日はJR久留里線の終点、上総亀山駅まで歩くつもりだ。

問題はそれから先である。亀山～鴨川間をどのように歩き通すかだ。この間1日では無理で2日、山道なので場合によっては3日かかるかもしれない。

鉄道やバスの定期便が通っていないので、途中で泊まらなければならない。歩きだから、体調によっては途中で前に進めなくなってしまうたり、足が痛くなって歩けなくなる可能性もある。鴨川・亀田病院へのバス便が使えるかもしれないが、非常に本数が少ないのであまりあてにはできない。

今日は久留里まで車で行き、駅に隣接するコミュニティセンターの駐車場に車を止めて歩くつもりだ。

車のメーターで家からの距離を測ると、馬来田までが13.0km、馬来田と久留里の間が9.2kmだった。

10時に久留里駅前をスタート。あっという間に久留里の町を抜け、徐々に丘陵地帯に入っていく。今日は陽射しが強く少し蒸し暑い。アップダウンの道が多くどんどん汗が出てくる。ゴルフ場の看板が次々と現れ、このあたりはとてもゴルフ場の多いところだと分る。

平山駅を過ぎてしばらく行くと、高原地帯を思わせる爽やかな風でずっと歩きやすくなった。ここまでで約1時間である。そこから20分ほど歩くと、



踏み切りのところで通行止めになっていた。

この先の広岡トンネルが通行できないようだ。係員に訊くと、迂回道路を行き車のための案内看板「鴨川方面→」を無視して、山を抜けるように歩いて行けばよいと教えてくれた。看板どおりに行くとずっと先に出てしまうということだ。迂回道路は、上総松丘の中心部を抜けていく道だった。といっても、家はまばらで小さな集落である。木更津高校に通っていた頃、同級生に松丘から来ている生徒がいたが、随分遠いところから通ってたんだなあ、と昔を思い出した。

集落を過ぎて丘の頂上あたりに来ると、「三本松陣屋址記念碑」や「満州軍没記念碑」などがあったが見ずに横を通り抜けた。

迂回道路は大戸見というところで国道465号線に合流。この国道は、このあたりでは標高の高いところを通っていて、久留里線と立体交差している。そこから数分行くと名殿という交差点があり、ここでどちらに行けばいいのか迷った。直進すると県道24号線で鴨川方面。左折して、そのまま国道465号を進めば七里川温泉方面だ。持参の地図は大雑把すぎて判断がつかない。

以前、自転車で養老溪谷から七里川温泉に行き、湯に浸かり食事をして帰りは名殿交差点から久留里方面に抜けたことがあった。誰もいない山の中の道路で、人に訊くこともできないのである。気が付いて携帯で地図を検索して、やっと七里川温泉方面に行けばいいことがわかった。丘陵地帯のアップダウンの多い道で足がかなり痛くなってきていたので、ここで方向を間違えてしまうと辿り着けなくなってしまう。

見覚えのある景色になるまで少し不安だったが、しばらく行くと亀山湖に通じる道路だということが分りやっと安心した。松丘から亀山の間はとても距離があり、歩くのに時間がかかった。地図上で見ると2駅分くらいの距離があるので、アップダウンを入れるとそれ以上だ。出発前は2時間ほどで着けると思っていたが、亀山駅に到着したのが午後1時だったので3時間かかったことになる。これから先、亀山から鴨川まで山の中の道路を歩き通すために、ちょうどいい経験だった。

亀山駅で約1時間待ち。小さな待合室の天井の隅に、ツバメの巣がありヒナが2匹可愛い声を上げている。帰りは、亀山から久留里までJRでアツと言う間の20分で帰ってきた。

次の日、疲れが残ってなかったので家の付近を歩いた。気温は昨日より低く少し強めの爽やかな風が吹いており、初めはとても清々しい気持ちで歩いた。ところが、少し早足で歩いたせいか1時間半ほど歩いたところで、急にフラツときた。冷や汗のような汗が噴き出してきた。きちんと朝食を摂らずに歩いたためだろうか？エネルギー切れという感じだった。約2時間、10kmほどだったと思うが、最後の30分はとてもきつかった。亀山～鴨川間を歩く時は、



亀山湖



亀山駅のツバメの巣

体調を万全に保ち、しっかり食事をして臨まなければならないことが再確認された。

(2013年6月7日)